

## 事例報告

# オンライン反転授業の試み

オンデマンド／リアルタイム併用の事例として

2020年8月26日

政策情報学部 権永詞

## 2020年春学期遠隔授業の取り組み

### メディア情報コース専門科目「記号と社会」

- ・ 記号論、社会理論の基礎知識を用いて消費社会論、ポストコロナリズムなど現代社会を分析する視点を学修
- ・ 履修者は1～4年生がほぼ同比率、（今学期履修者数74名）

### 地域政策コース専門科目「行政実務応用（人文）Ⅰ」

- ・ 主に公務員の地方上級試験で出題される範囲の人文科学の基礎知識の学修
- ・ 履修者は主に公務員志望の3年生（今学期履修者数54名）

2020/5/12

2

## e-learningのメリットとデメリット

メリット	①物理的な移動コストの削減	学生にとって「 <u>大学生</u> 」であるという自覚を持つための重要な要素	
	②自分のタイミングでの受講		
	③授業の繰り返し視聴		
	④個人の理解度に合わせたカスタマイズ		
	⑤学生の授業参加ツールの多様さ		
デメリット	①授業参加意識の希薄さ	現状、対面でも多くの質問が寄せられているわけではないので、メリットの⑤参加ツールの多様化による好転を期待	
	②授業参加中のモチベーションの維持		
	③対面での質疑応答		学生にとって自分たちのメリットであると認識されていないので、今回は対応せず
	④表情や態度での意思表示		

## e-learningのメリットとデメリット

メリット	①物理的な移動コストの削減	オンデマンド／リアルタイム双方で可能
	②自分のタイミングでの受講	オンデマンド方式で対応
	③授業の繰り返し視聴	
	④個人の理解度に合わせたカスタマイズ	
	⑤学生の授業参加ツールの多様さ	PC・スマホでのOffice、cuc portalの活用
デメリット	①授業参加意識の希薄さ	リアルタイム方式で対応
	②授業参加中のモチベーションの維持	チャット、RP、Q&A、画面共有などで対応
	③対面での質疑応答（学生同士を含む）	
	④表情や態度での意思表示	「いいね」などで対応（？、今回は断念）

反転授業を採用

# 反転授業のスタイル

## • 学修範囲や到達度が明確なスキル系科目の場合

➢ 受講によって問題が解けるようになったという実感が重要

◆ 学習の反復（メリットの③）や個人に合わせたカスタマイズ（メリットの④）が重要

→ 「行政実務応用」では授業時間外学修と課題に重点

## • テキスト等の深い読解が重要な非スキル系科目の場合

➢ 到達度の明示が難しいため、「考える」という過程が重要

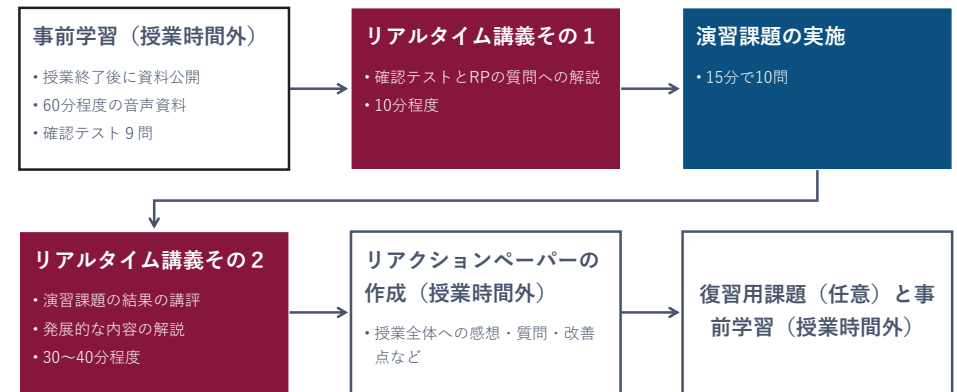
◆ 高い参加意欲（デメリットの①）や質疑応答（デメリットの③）が重要

→ 「記号と社会」では授業内完結と授業内のコミュニケーションに重点

2020/5/12

5

# 「行政実務応用」の授業の進め方



# 「行政実務応用」の授業資料と課題

授業資料	文書資料 (PDF)	オリジナルの授業資料、事前学習用のテキスト、各回A4サイズで4~9枚程度
	音声資料 (mp3)	文書資料の解説、各回30分程度の音声ファイルが2本
	板書資料 (PPT→PDF)	音声資料の補足、各回10~15枚程度のpptファイルをPDFとして配布
課題	確認テスト	事前学習用資料の視聴終了後、板書資料のリンクからFormsにアクセス、ごく初歩的な内容で9問程度出題
	演習課題	授業開始後にTeamsのスレッドにリンクを投稿してアクセス、事前学習の理解を問う課題、各回10問出題、回答時間は15分
	リアクションペーパー	Formsで提出、各回授業の最後にTeamsのスレッドにリンクを投稿、
	期末試験	Formsで回答する持ち込み可の試験、5択形式で20問出題（出題順は学生ごとにランダムに変更）、回答時間は30分

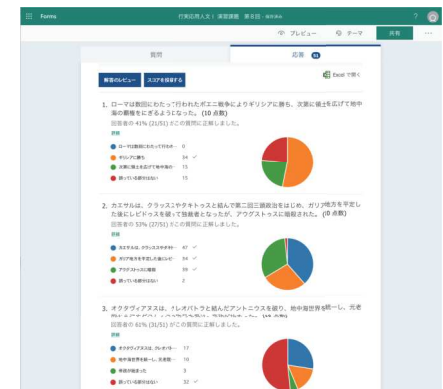
# 「行政実務応用」：回答の共有

## • 「演習課題」の解説

➢ 画面共有で正答率と誤りのパターンを全員で確認

➢ 解説をリアルタイムにすることで授業に参加している臨場感

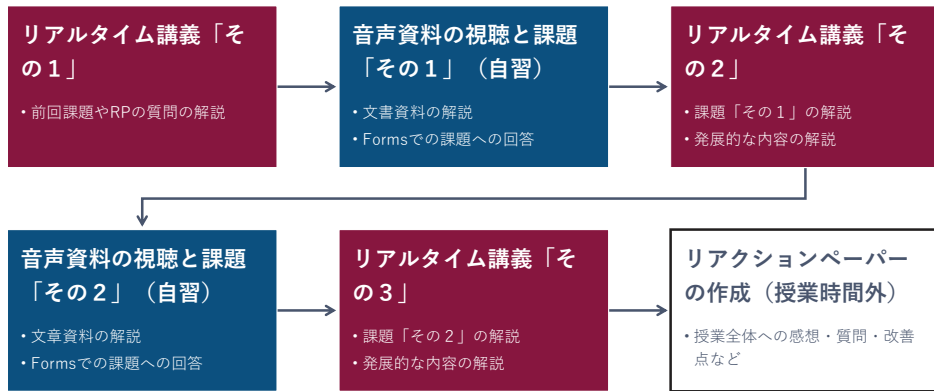
➢ 「確認テスト」と「演習課題」それぞれを解説することで誤って理解していた箇所の修正に効果



2020/5/12

8

# 「記号と社会」の進め方



# 「記号と社会」の授業資料と課題

授業資料	文書資料 (PDF)	教科書や参考文献の抜粋、オリジナルの授業資料など、授業開始前に各自ダウンロードして読了しておくことを指示、各回A4サイズで2~4枚程度
	音声資料 (mp3)	文書資料の解説、各回15~20分程度の音声ファイルが2本
	板書資料 (PPT-PDF)	音声資料の補足、各回10~15枚程度のpptファイルをPDFとして配布
課題	授業内課題「その1」と「その2」	授業時間中にFormsから回答する小課題(主に記述式)、板書資料のリンクからアクセス、指定時間以降に回答が可能、10分程度
	リアクションペーパー	Formsで提出、各回授業の最後にTeamsのスレッドにリンクを投稿、※授業時間中に記入予定だったがほとんどの回で授業後に記入
	期末レポート	800~1000字程度のレポート、cuc portalの課題で提出

# 「記号と社会」：回答の共有

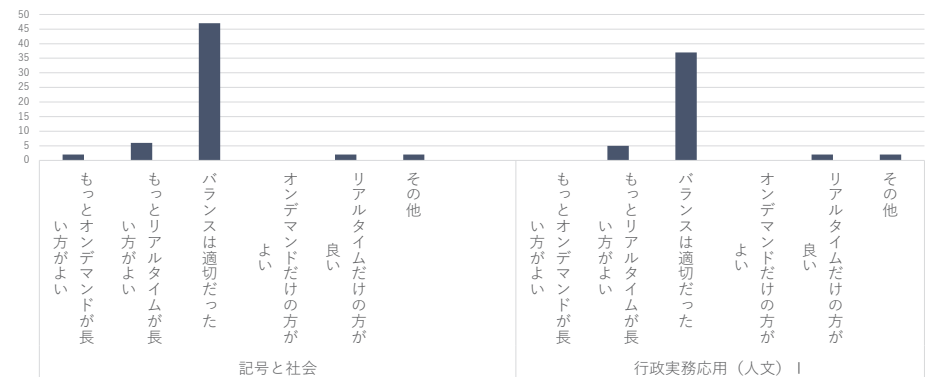
## ・授業内課題の回答の共有

▶全員の回答が出揃う前に解説を開始

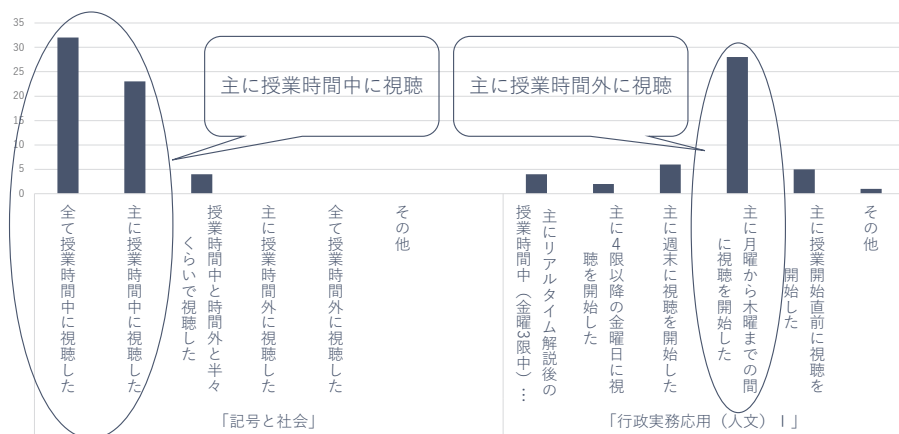
- ◆匿名で他の学生の回答をリアルタイムで共有することで、理解が深まり回答できる学生も(間接的な学生間コミュニケーション)
- ◆自分の回答へのFBがあることで参加意識やモチベーションが向上



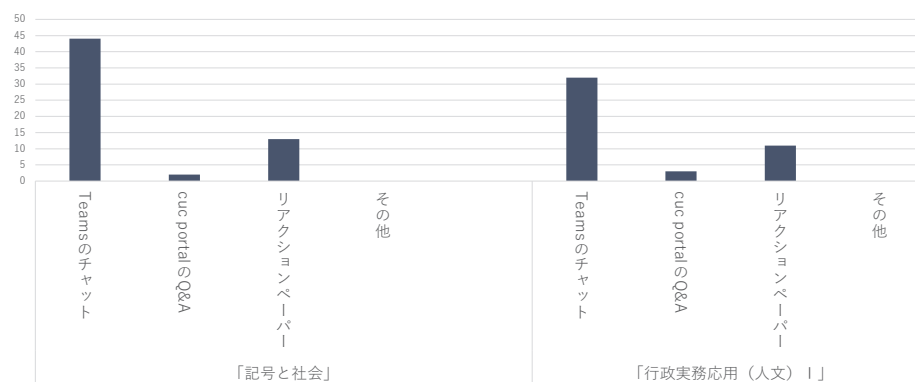
# 学生の評価 ：オンデマンドとリアルタイムの組合せ



## 学生の評価 ：オンデマンド資料の視聴のタイミング



## 学生の評価 ：使いやすかったコミュニケーションツール



## 今学期の成果

- テキスト・ベースのコミュニケーションの効果
  - リアクションペーパーの質問に毎回答えることで質問数は回を追うごとに増加
  - RPを含めチャットやQ&Aなどテキストによるコミュニケーションは学生に概ね好評
- 課題へのフィードバックの効果
  - 遠隔でもコミュニケーションが取れていることの安心感
  - Formsを用いることで即時に個別の応答も可能
- 初回のインストラクションの効果
  - 受講の仕方が複雑なので初回のインストラクションが重要
  - 「授業の受け方」がわかると参加意欲の向上に

## 今後の課題

- 受講環境の問題
  - 通信速度制限による大容量データ使用の難しさ
  - スマホ受講の場合、3つ以上の動作を同時にできないこと
- 反復視聴の強化
  - リアルタイム解説を録画してほしいという要望多数 (→初期にStreamを用いて試みるも挫折)
- 学生に応じたカスタマイズの強化
  - 教材・課題・システムそれぞれのアップグレードが必要
- 授業資料の早めのアップロード
  - 自習時間の確保が重要 (行政実務応用は1週間、記号と社会は2日間)